Ｓｍａｒｔ－ｉ　ゴールドファンド（為替ヘッジあり）

運用報告書（全体版）

第２期（決算日　2023年７月25日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「Ｓｍａｒｔ－ｉ　ゴールドファンド（為替ヘッジあり）」は、2023年７月25日に第２期の決算を行いましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（商品）	
信託期間	2021年７月20日から無期限です。	
運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	Ｓｍａｒｔ－ｉ ゴールドファンド（為替ヘッジあり）	・ＲＭゴールドマザーファンド（為替ヘッジあり）の受益証券
	ＲＭゴールドマザーファンド（為替ヘッジあり）	・金地金価格への連動を目指すＥＴＦ
主な投資制限	Ｓｍａｒｔ－ｉ ゴールドファンド（為替ヘッジあり）	・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ＲＭゴールドマザーファンド（為替ヘッジあり）	・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

りそなアセットマネジメント株式会社
東京都江東区木場１丁目５番65号

＜照会先＞
電話番号：0120-223351
(委託会社の営業日の午前９時～午後５時)
ホームページ：https://www.resona-am.co.jp/

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	投資信託証券組入比率	純資産総額
（設定日）	円	円	％	％	百万円
2021年７月20日	10,000	－	－	－	51
１期(2022年７月25日)	9,309	0	△6.9	96.9	74
２期(2023年７月25日)	9,834	0	5.6	93.9	193

（注）設定日の基準価額は、設定時の価額（元本＝10,000円）です。
（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
（注）設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。
（注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

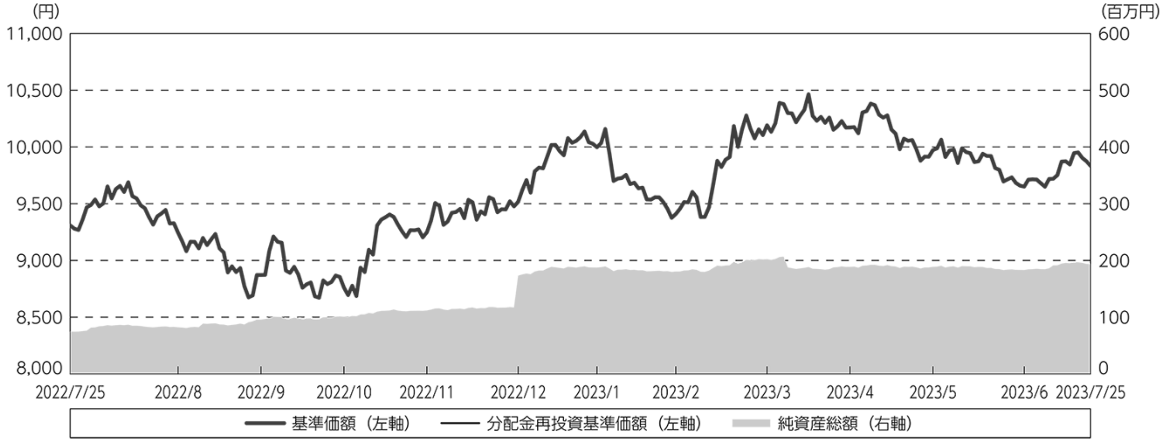
年月日	基準価額	騰落率	投資信託証券組入比率
（期首）	円	％	％
2022年７月25日	9,309	－	96.9
７月末	9,469	1.7	94.9
８月末	9,245	△0.7	103.5
９月末	8,872	△4.7	101.0
10月末	8,761	△5.9	97.3
11月末	9,249	△0.6	91.5
12月末	9,517	2.2	95.3
2023年１月末	9,998	7.4	96.4
２月末	9,409	1.1	102.8
３月末	10,191	9.5	98.5
４月末	10,172	9.3	97.5
５月末	9,973	7.1	100.1
６月末	9,651	3.7	103.0
（期末）2023年７月25日	9,834	5.6	93.9

（注）騰落率は期首比です。
（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2022年７月26日～2023年７月25日）

期中の基準価額等の推移



期　首：9,309円
期　末：9,834円（既払分配金（税引前）：０円）
騰落率：　5.6%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、期首（2022年７月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

金市況が上昇したことから、基準価額は上昇しました。

投資環境

金市況

　金価格は、前期末と比較して上昇しました。期初は、主要国中央銀行（日本除く）がインフレ抑制姿勢を強め、急速なペースで利上げを継続したことから、金利のつかない金の投資魅力が低下する場面もみられましたが、長期金利の低下を受けて金価格は反発しました。2023年３月には、米国の一部の中堅銀行の破綻などをきっかけに米欧を中心に金融システム不安が高まるなか、安全性が比較的高いとされる金が資金逃避先として選好されました。期末にかけては、主要国中央銀行（日本除く）による利上げ終了時期を巡る不透明感から金価格は上下しました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンド

　ＲＭゴールドマザーファンド（為替ヘッジあり）受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

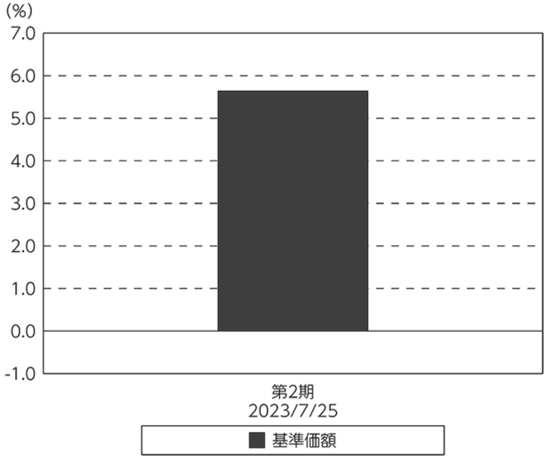
ＲＭゴールドマザーファンド（為替ヘッジあり）

　日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている金地金価格への連動を目指すＥＴＦ（上場投資信託証券）に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行いました。また、投資対象資産の通貨は対円で為替ヘッジ（為替の売り予約）を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

　当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

基準価額（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

　当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきました。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり・税込み）

項　　　　　目	第２期 2022年７月26日～ 2023年７月25日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	96

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンド

　引き続き、ＲＭゴールドマザーファンド（為替ヘッジあり）受益証券を高位に組入れて運用を行う方針です。

ＲＭゴールドマザーファンド（為替ヘッジあり）

　引き続き、日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている金地金価格への連動を目指すＥＴＦ（上場投資信託証券）に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、原則として、為替ヘッジ（為替の売り予約）を行います。

○１万口当たりの費用明細

（2022年７月26日～2023年７月25日）

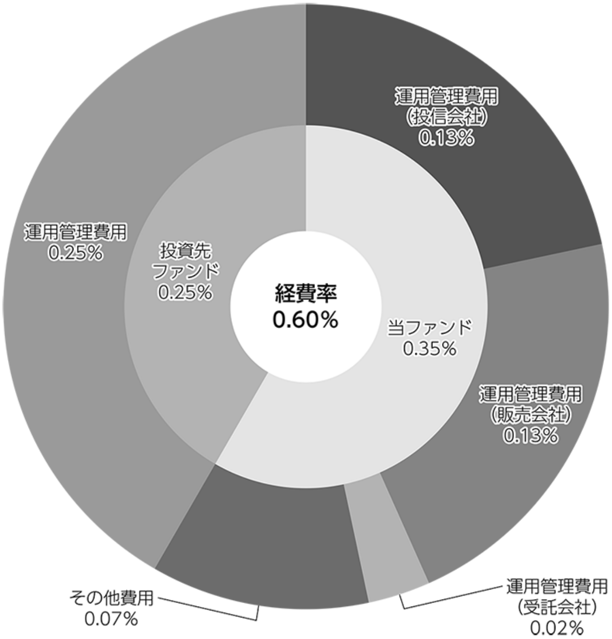
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	26	0.275	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(12)	(0.127)	ファンドの運用・調査、基準価額の計算、開示資料作成等の対価
（販売会社）	(12)	(0.126)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.048	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(5)	(0.048)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	7	0.074	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(6)	(0.063)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.004)	その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合計	38	0.397	
期中の平均基準価額は、9,542円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

◯経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

　当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は0.60％です。



（単位：％）

経費率（①＋②）	**0.60**
①当ファンドの費用の比率	0.35
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.25

（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、マザーファンドが組入れているＥＴＦ（上場投資信託証券）です。
（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2022年７月26日～2023年７月25日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘　柄	設　定		解　約	
	口　数	金　額	口　数	金　額
	千口	千円	千口	千円
ＲＭゴールドマザーファンド（為替ヘッジあり）	154,755	147,777	39,500	39,830

○利害関係人との取引状況等

（2022年７月26日～2023年７月25日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

（2022年７月26日～2023年７月25日）

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2022年７月26日～2023年７月25日）

期首残高（元本）	当期設定元本	当期解約元本	期末残高（元本）	取　引　理　由
百万円	百万円	百万円	百万円	
1	－	－	1	当初設定時における取得

○組入資産の明細

（2023年７月25日現在）

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ＲＭゴールドマザーファンド（為替ヘッジあり）	79,884	195,139	193,265

○投資信託財産の構成

（2023年７月25日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ＲＭゴールドマザーファンド（為替ヘッジあり）	193,265	99.1
コール・ローン等、その他	1,786	0.9
投資信託財産総額	195,051	100.0

（注）比率は、投資信託財産総額に対する割合です。
（注）ＲＭゴールドマザーファンド（為替ヘッジあり）において、当期末における外貨建純資産（181,782千円）の投資信託財産総額（194,409千円）に対する比率は93.5%です。
（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=141.58円。

○特定資産の価格等の調査

（2022年７月26日～2023年７月25日）

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年７月25日現在）

項　目	当 期 末
	円
(A) 資産	**195,051,838**
コール・ローン等	640,851
RMゴールドマザーファンド（為替ヘッジあり）（評価額）	193,265,987
未収入金	1,145,000
(B) 負債	**1,492,923**
未払解約金	1,229,921
未払信託報酬	256,829
未払利息	1
その他未払費用	6,172
(C) 純資産総額（Ａ－Ｂ）	**193,558,915**
元本	196,817,245
次期繰越損益金	△　3,258,330
(D) 受益権総口数	**196,817,245口**
１万口当たり基準価額（Ｃ／Ｄ）	**9,834円**

(注) 当ファンドの期首元本額は80,075,091円、期中追加設定元本額は174,357,628円、期中一部解約元本額は57,615,474円です。
(注) 当期末の１口当たり純資産額は0.9834円です。
(注) 2023年７月25日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は3,258,330円です。

○損益の状況（2022年７月26日～2023年７月25日）

項　目	当　期
	円
(A) 配当等収益	**△　266**
支払利息	△　266
(B) 有価証券売買損益	**7,365,929**
売買益	10,925,679
売買損	△ 3,559,750
(C) 信託報酬等	**△　418,311**
(D) 当期損益金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	**6,947,352**
(E) 前期繰越損益金	**△ 5,054,706**
(F) 追加信託差損益金	**△ 5,150,976**
（配当等相当額）	（△　1,240）
（売買損益相当額）	（△ 5,149,736）
(G) 計（Ｄ＋Ｅ＋Ｆ）	**△ 3,258,330**
(H) 収益分配金	**0**
次期繰越損益金（Ｇ＋Ｈ）	**△ 3,258,330**
追加信託差損益金	△ 5,150,976
（配当等相当額）	（△　1,593）
（売買損益相当額）	（△ 5,149,383）
分配準備積立金	1,896,730
繰越損益金	△　4,084

(注) 損益の状況の中で(B)**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で(C)**信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) 損益の状況の中で(F)**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（0円）、費用控除後の有価証券等損益額（1,896,730円）より分配対象収益は1,896,730円（１万口当たり96円）ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

１万口当たり分配金（税込み）	0円

○お知らせ

該当事項はございません。

ＲＭゴールドマザーファンド（為替ヘッジあり）

運用報告書

第２期（決算日　2023年７月25日）
（2022年７月26日～2023年７月25日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2021年７月20日から無期限です。
運用方針	①主として、日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている金地金価格への連動を目指すＥＴＦ（上場投資信託証券）に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ②ＥＴＦの組入比率は、通常の状態で高位に維持することを基本とします。 ③組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。
主要投資対象	・金地金価格への連動を目指すＥＴＦ
主な投資制限	・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

りそなアセットマネジメント株式会社

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率	投資信託証券組入比率	純資産総額
(設定日) 2021年７月20日	円 10,000	% －	% －	百万円 50
１期(2022年７月25日)	9,318	△6.8	97.0	74
２期(2023年７月25日)	9,904	6.3	94.0	193

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額（元本＝10,000円）です。
(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。
(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	投資信託証券組入比率
(期　首) 2022年７月25日	円 9,318	% －	% 97.0
７月末	9,478	1.7	95.1
８月末	9,257	△ 0.7	103.8
９月末	8,888	△ 4.6	101.1
10月末	8,781	△ 5.8	97.5
11月末	9,273	△ 0.5	91.7
12月末	9,565	2.7	95.4
2023年１月末	10,054	7.9	96.5
２月末	9,461	1.5	103.0
３月末	10,252	10.0	97.9
４月末	10,237	9.9	97.6
５月末	10,039	7.7	100.2
６月末	9,717	4.3	103.2
(期　末) 2023年７月25日	9,904	6.3	94.0

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

（2022年７月26日～2023年７月25日）

期中の基準価額等の推移

○基準価額の主な変動要因

　金価格が上昇したことから、基準価額は上昇しました。

投資環境

金市況

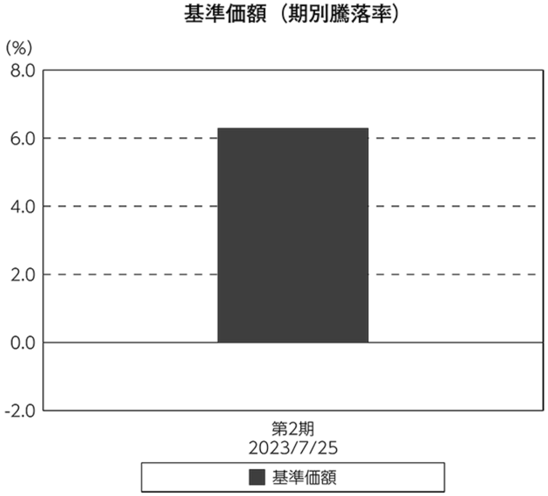
　金価格は、前期末と比較して上昇しました。期初は、主要国中央銀行（日本除く）がインフレ抑制姿勢を強め、急速なペースで利上げを継続したことから、金利のつかない金の投資魅力が低下する場面もみられましたが、長期金利の低下を受けて金価格は反発しました。2023年３月には、米国の一部の中堅銀行の破綻などをきっかけに米欧を中心に金融システム不安が高まるなか、安全性が比較的高いとされる金が資金逃避先として選好されました。期末にかけては、主要国中央銀行（日本除く）による利上げ終了時期を巡る不透明感から金価格は上下しました。

当ファンドのポートフォリオ

　日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている金地金価格への連動を目指すＥＴＦ（上場投資信託証券）に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行いました。また、投資対象資産の通貨は対円で為替ヘッジ（為替の売り予約）を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。



○今後の運用方針

引き続き、日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている金地金価格への連動を目指すＥＴＦ（上場投資信託証券）に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、原則として、為替ヘッジ（為替の売り予約）を行います。

○１万口当たりの費用明細

（2022年７月26日～2023年７月25日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 売買委託手数料	5	0.048	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(5)	(0.048)	
(b) 有価証券取引税	0	0.000	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(c) その他費用	6	0.068	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(6)	(0.063)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(0)	(0.004)	その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合計	11	0.116	
期中の平均基準価額は、9,583円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2022年７月26日～2023年７月25日）

投資信託証券

	銘柄	買付 口数	買付 金額	売付 口数	売付 金額
外国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	ISHARES GOLD TRUST	26,100	889	7,570	274

(注) 金額は受け渡し代金。
(注) 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○利害関係人との取引状況等 （2022年７月26日～2023年７月25日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 （2022年７月26日～2023年７月25日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細 （2023年７月25日現在）

外国投資信託証券

銘柄		期首(前期末)	当期末			
		口数	口数	評価額 外貨建金額	評価額 邦貨換算金額	比率
(アメリカ)		口	口	千米ドル	千円	%
ISHARES GOLD TRUST		16,141	34,671	1,283	181,720	94.0
合計	口数・金額	16,141	34,671	1,283	181,720	
	銘柄数＜比率＞	1	1	－	＜94.0%＞	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成 （2023年７月25日現在）

項目	当期末 評価額	当期末 比率
	千円	%
投資信託受益証券	181,720	93.5
コール・ローン等、その他	12,689	6.5
投資信託財産総額	194,409	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。
(注) 当期末における外貨建純資産（181,782千円）の投資信託財産総額（194,409千円）に対する比率は93.5%です。
(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=141.58円。

○特定資産の価格等の調査 （2022年７月26日～2023年７月25日）

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 （2023年７月25日現在）

項　　　　目	当 期 末
	円
(A) **資産**	**371,562,181**
コール・ローン等	9,064,046
投資信託受益証券(評価額)	181,720,821
未収入金	180,777,314
(B) **負債**	**178,297,421**
未払金	177,152,397
未払解約金	1,145,000
未払利息	24
(C) **純資産総額（Ａ－Ｂ）**	**193,264,760**
元本	195,139,325
次期繰越損益金	△　1,874,565
(D) **受益権総口数**	**195,139,325口**
１万口当たり基準価額（Ｃ／Ｄ）	**9,904円**

（注）当ファンドの期首元本額は79,884,641円、期中追加設定元本額は154,755,482円、期中一部解約元本額は39,500,798円です。
（注）2023年７月25日現在の元本の内訳は以下の通りです。
・Ｓｍａｒｔ－ｉ　ゴールドファンド（為替ヘッジあり）　195,139,325円
（注）当期末の１口当たり純資産額は0.9904円です。
（注）2023年７月25日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は1,874,565円です。

○損益の状況 （2022年７月26日～2023年７月25日）

項　　　　目	当　　期
	円
(A) **配当等収益**	**△　　3,815**
受取利息	108
支払利息	△　　3,923
(B) **有価証券売買損益**	**10,986,348**
売買益	50,338,011
売買損	△39,351,663
(C) **保管費用等**	**△　　98,622**
(D) **当期損益金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）**	**10,883,911**
(E) **前期繰越損益金**	**△ 5,450,792**
(F) **追加信託差損益金**	**△ 6,978,482**
(G) **解約差損益金**	**△　329,202**
(H) **計（Ｄ＋Ｅ＋Ｆ＋Ｇ）**	**△ 1,874,565**
次期繰越損益金（Ｈ）	**△ 1,874,565**

（注）損益の状況の中で(B)**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
（注）損益の状況の中で(F)**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
（注）損益の状況の中で(G)**解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。